



## 8. 資料

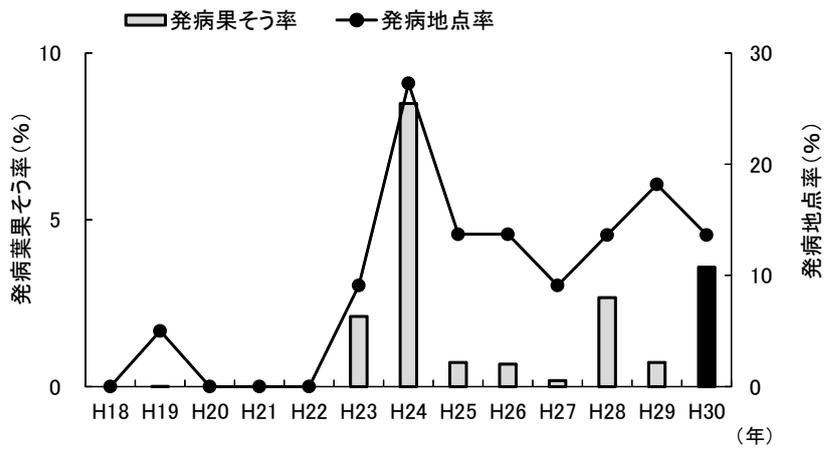


図-1 6月中旬の巡回調査における発生推移



図-2 葉の病斑（発病初期）



図-3 葉の発病状況（病斑が拡大しすす状を呈する）



図-4 葉の発病状況  
(古くなると病斑が盛り上がる)



図-5 葉裏の発病状況



図-6 幼果の発病状況

表-1 りんご黒星病の防除薬剤

分類	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	各成分の総使用回数
E	パスポート顆粒水和剤	1,000倍	収-45日	3回以内	ア
D・O	ダイパワー水和剤	1,000倍	収-前日	* a	イ、ウ
W	ストライド顆粒水和剤	1,500倍	開花から収-前日	* b	エ
O	ベフラン液剤25	1,500倍	収-前日	* a	ウ
B	ジマンダイセン水和剤	600倍	収-30日	3回以内	オ
B	チオノックフロアブル	500倍	収-30日	5回以内	カ
B	トレノックスフロアブル	500倍	収-30日	5回以内	カ
D	オーソサイド水和剤80	800倍	収-前日	6回以内	イ
J・S	ナリアWDG	2,000倍	収-前日	3回以内	キ、ク
D・F	アリエッティC水和剤	800倍	収-前日	3回以内	イ、ケ
A・D	オキシラン水和剤	600倍	収-14日	4回以内	イ、コ

分類 A:銅剤 B:有機硫黄剤 D:ポリハロアルキルチオ剤 E:有機塩素剤 F:有機リン系剤 J:SDHI剤  
O:グアニジン系剤 S:QoI剤 W:その他

使用回数 \*a 6回以内(但し、開花期以降散布は3回以内)

\*b 5回以内(開花前まで2回以内、開花から収穫前日まで3回以内)

各成分の総使用回数

ア:TPN(3回以内) イ:キャプタン(6回以内)

ウ:イミノクタジン(8回以内(液剤及び水和剤は合計6回以内(開花期以降は3回以内)、塗布剤は2回以内)

エ:フルオルイミド(5回以内(開花前は2回以内、開花後は3回以内)) オ:マンゼブ(3回以内)

カ:チウラム(5回以内) キ:ピラクロストロビン(3回以内) ク:ポスカリド(3回以内) ケ:ホセチル(3回以内)

コ:有機銅(7回以内(塗布は3回以内、散布は4回以内))

(注意事項) QoI剤(分類 S)は耐性菌出現を回避するため、年2回の使用にとどめる。

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県果樹試験場 TEL 0182-25-4224

かづの果樹センター TEL 0186-25-3231

掲載HP <http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>